

平成25年

災害の記録

鹿児島県



## はじめに

平成25年中の災害による本県の被害額は、約112億円となりました。

主なものとしては、9月3日から4日にかけて接近した台風第17号により公共土木施設や農林水産業施設等に甚大な被害が生じました。

さらに、6月9日の種子島・屋久島地方の大雨、6月24日から26日にかけての大雨、10月7日から8日にかけて接近した台風第24号により公共施設に甚大な被害が生じました。

火山災害においては、桜島において年間835回の爆発が発生し、降灰による農作物への被害額は、約65億円に上りました。

自然災害による被害を受けやすい本県においては、防災対策を県政の重要課題のひとつとして平成20年4月に施行した「県防災対策基本条例」に基づき、県民が自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民がお互いに助け合って地域の安全を確保する「共助」、市町村、県及び防災関係機関が行う「公助」を基本として、各主体がそれぞれの役割と責任のもとに連携・共同して防災対策を着実にを行うこととし、各般にわたる様々な施策の積極的な推進に取り組んでいるところです。

今後とも県民の生命、財産を守るため、市町村や防災関係機関等と緊密な連携を図りながら災害の未然防止に万全を期して参りたいと考えています。

ここに、平成25年中に県内で発生した災害を収録しましたので、今後の防災対策の参考にしていただければ幸いです。

最後に本誌の編集に当たり、御協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

平成27年3月

鹿児島県危機管理局危機管理防災課長 幸 進也

## 目 次

第1	災害の概況	・・・・・・・・	1
第2	被害総括表	・・・・・・・・	2
第3	降雨災害		
1	2月27日の大雨・洪水	・・・・・・・・	7
2	4月30日の洪水	・・・・・・・・	11
3	5月11日の大雨	・・・・・・・・	15
4	6月9日の大雨・洪水	・・・・・・・・	19
5	6月23日の降雨	・・・・・・・・	24
6	6月24日～26日の大雨・洪水	・・・・・・・・	28
7	6月27日の大雨・洪水	・・・・・・・・	38
8	6月28日の大雨・洪水	・・・・・・・・	42
9	6月30日の降雨	・・・・・・・・	46
10	7月2日の降雨	・・・・・・・・	51
11	7月7日の大雨	・・・・・・・・	55
12	8月5日～6日の大雨・洪水	・・・・・・・・	59
13	8月12日の大雨・洪水	・・・・・・・・	66
14	8月15日の大雨・洪水	・・・・・・・・	69
15	8月17日～18日の降雨	・・・・・・・・	73
16	8月26日の大雨・洪水	・・・・・・・・	78
17	9月1日～2日の大雨・洪水	・・・・・・・・	82
18	9月22日の大雨・洪水	・・・・・・・・	90
19	11月10日の大雨	・・・・・・・・	93
20	12月17日の大雨・洪水	・・・・・・・・	97
第4	台風災害		
1	6月20日～21日の台風第4号	・・・・・・・・	100
2	8月31日の台風第15号	・・・・・・・・	109
3	9月3日～4日の台風第17号	・・・・・・・・	117
4	10月5日の台風第23号	・・・・・・・・	130
5	10月7日～8日の台風第24号	・・・・・・・・	127
6	10月15日の台風第26号	・・・・・・・・	152
7	10月24日～25日の台風第27号	・・・・・・・・	159

第5	地震・津波災害	
1	1月28日の地震	172
2	2月6日の津波注意報	173
3	3月6日の地震	174
4	6月21日の地震	175
第6	その他災害	
1	1月13日～14日の暴風	176
2	3月18日の突風	181
3	4月3日の強風	184
4	4月6日～7日の暴風	187
5	4月11日の霜	194
6	4月14日の雹	198
7	6月26日の強風	202
8	平成24年6月8日～平成25年5月27日の地すべり	207
第7	火山の活動状況及び被害状況	
1	桜島	208
2	霧島山（新燃岳，御鉢）	219
3	薩摩硫黄島	224
4	口永良部島	228
5	諏訪之瀬島	229
第8	参考資料	
1	平成25年災害気象名別被害額一覧表	233
2	平成25年災害年報	234
3	平成25年局地激甚災害指定	239
4	平成25年警報発令状況	240
5	平成25年地震発生状況	246
6	平成25年火山情報発表状況	247
7	平成25年避難勧告等発令状況	248
8	平成25年台風発生状況（台風の発生数と接近・上陸数）	249
9	平成25年火災発生状況	252
10	平成25年出火原因別火災件数	253
11	鹿児島県におけるプロパンガス事故の発生状況	254
12	噴火警戒レベルとは	256

## 平成 25 年の鹿児島県内の天気の特徴

1 月は、寒気や気圧の谷の影響を受けやすく、中旬には急速に発達した低気圧の影響で荒れた天気となった所もあった。鹿児島市の雪日数は 1 日(平年は 2.3 日)、月平均気温は、鹿児島市 7.9 度(平年比-0.6、以下カッコ内は平年比を示す)、奄美市 14.2 度(-0.6) だった。

2 月は、低気圧や前線の通過で、大雨や荒れた天気となった日があり、4 日には九州南部・奄美地方で春一番が吹いた。低気圧や前線の通過後は寒気が流れ込み、東シナ海側を中心にしぐれたり、朝の冷え込みが強まるなどした。鹿児島市の雪日数は 0 日(平年は 1.8 日)、月平均気温は、鹿児島市 10.3 度(+0.5)、奄美市 16.1 度(+0.9) だった。月降水量は、鹿児島市で 199.5 ミリ(178%)に達した。

3 月は、中旬まで高気圧に覆われ晴れた日が多く、気温が高くなった。鹿児島市のソメイヨシノは 15 日に開花し(平年より 11 日早い)、26 日に満開を迎えた(平年より 9 日早い)。開花、満開とも観測史上最も早い記録。月平均気温は、鹿児島市 14.1 度(+1.6)、奄美市 18.6 度(+1.5)といずれも平年よりかなり高く、月降水量は、鹿児島市 80.5 ミリ(45%)、奄美市 109.5 ミリ(47%)と、いずれも平年よりかなり少なくなった。

4 月は、上旬は低気圧や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多く、その後は天気が周期的に変わった。7 日は一時的に冬型気圧配置となり、各地で冷え込んであらが降った所もあった。月平均気温は、鹿児島市 16.3 度(-0.6)、奄美市 19.0 度(-0.8) だった。

5 月は、初め高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、奄美は中旬から天気がぐずつき、県本土、種子・屋久も月の中ごろから梅雨のはしりとなった。奄美は 10 日頃、平年より 1 日早い梅雨入りとなり、下旬にかけてたびたび大雨に見舞われた。九州南部は 27 日頃に、平年より 4 日早い梅雨入りとなった。月平均気温は、鹿児島市 21.4 度(+0.6)、奄美市 22.2 度(-0.5)。月降水量は、鹿児島市は 54.5 ミリ(25%)と平年よりかなり少なく、奄美市は 421.5 ミリ(163%)と平年よりかなり多くなった。

6 月は、梅雨前線の影響で梅雨空が続き、大雨となった日もあった。中旬は台風 3 号や 4 号の影響も受けた。下旬になると梅雨前線は九州南部付近に停滞するようになり、奄美地方では 29 日頃に梅雨明けした(平年並み)。月平均気温は、鹿児島市 24.6 度(+0.6)、奄美市 26.8 度(+0.8)。月降水量は、鹿児島市 426.0 ミリ(94%)、奄美市 370.5 ミリ(90%)。

7月は、九州南部は初め天気がぐずつしたが、8日頃に梅雨明け(平年より6日早い)して以後は勢力の強い太平洋高気圧に覆われて夏空が続いた。奄美も晴れた日が多かったが、中旬には台風7号から流れ込む湿った空気の影響で曇りや雨の天気となった所もあった。鹿児島市の月平均気温は29.4度(+1.3)で、7月としては最も高い記録に。月降水量は、鹿児島市16.5ミリ(5%)、奄美市は0.0ミリ(0%)で、いずれも7月の最少記録となった。

8月は、太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、中旬以降は熱帯低気圧や台風12号、台風15号、前線などの影響を受けて大気の状態が不安定になり、雷雨や大雨となった所もあった。鹿児島市では8月23日の最高気温が37.1度(+4.9)まで上がり、8月の日最高気温の極値を更新した。月平均気温は、鹿児島市30.0度(+1.5)、奄美市29.4度(+1.0)で、いずれも8月としては最も高い記録となった。

9月は初め前線や台風17号の影響で大雨となった所があったが、太平洋高気圧が勢力を盛り返し、次第に晴天が多くなった。中旬には台風18号からの湿った空気の流れ込みでわか雨や雷雨となった所もあった。奄美市では9月1日の最低気温が28.6度(+3.3)と、9月の日最低気温としては最も高い記録となった。月平均気温は、鹿児島市は26.8度(+0.7)、奄美市は27.6度(+0.8)だった。

10月は、秋雨前線や、上旬に台風23号と台風24号、中旬に台風26号、下旬に台風27号の影響を受け、暴風や大雨となった日があった。10月に接近した台風の数は、沖縄・奄美への接近数が4個、日本への接近数が6個で、いずれも1951年の統計開始以来最も多い記録となった。26日以降は大陸からの高気圧に覆われて晴天が続くようになり、寒気や放射冷却の影響で朝晩を中心に気温が下がり始めた。月平均気温は、鹿児島市22.5度(+1.3)、奄美市24.4度(+0.7)。月降水量は、鹿児島市154.0ミリ(151%)、奄美市344.5ミリ(147%)。

11月は、初め気温が高かったが、中旬以降は冬型気圧配置が現れて、季節が急速に初冬へ移ろっていった。特に、月の終わり頃は強い冬型気圧配置となり、時雨れて、28日には平年より17日早く桜島で初冠雪を観測した。月平均気温は、鹿児島市14.6度(-1.3)、奄美市19.3度(-0.9)。月降水量は、鹿児島市は114.5ミリ(124%)、奄美市130.0ミリ(72%)。

12月は、低気圧や前線の通過で大雨となった日があり、そうした気圧の谷の通過をきっかけにして寒気が流れ込んできた。下旬は寒気の流れ込みが持続し、冬型気圧配置となる日が多かった。特に、27日から29日は山地を中心に雪が降った所もあり、29日に鹿児島市では平年より4日早く初雪を観測した。月平均気温は、鹿児島市は9.3度(-1.3)、奄美市は15.2度(-1.3)。月降水量は、鹿児島市は105.0ミリ(147%)、奄美市は292.5ミリ(186%)。

1年間の平均気温は、鹿児島市は18.9度(+0.3)、奄美市は21.8度(+0.2)と、平年を上回った。

降水量は、鹿児島市は1777.5ミリ(78%)、奄美市は2302.5ミリ(81%)と、平年を下回った。種子島は1590.5ミリ(68%)と、過去2番目に少ない記録となった。

日照時間は、鹿児島市は2182.9時間(113%)、奄美市は1598.2時間(118%)で、いずれも平年よりかなり多かった。



## 第1 災害の概況

### ○ 降雨災害

雨による被害額が公共土木施設や農林水産業を中心に被害が発生し、被害額は約17億円3千万円となり、年間被害総額の約15%であった。

### ○ 台風災害

平成25年中には、1個の台風が本県に上陸、3個の台風が本県に接近し、被害をもたらした。10月7日から10月8日にかけて接近した台風第24号は、奄美地方を中心に被害をもたらし、被害額は約10億7千万円となった。

また、台風災害による年間被害額は約27億1千万円であり、年間被害総額の約24%であった。

### ○ 地震・津波災害

1月28日、3月6日、6月21日に奄美地方で最大震度4を観測する地震が発生した。また2月6日には、サンタクルーズ諸島付近で発生した地震により、県内に津波注意報が発表され、奄美で高さ25cmの津波を観測した。いずれも被害はなかった。

### ○ その他の災害

平成25年中は、暴風や雹、寒害などにより農作物等を中心に被害が発生した。また、地すべり災害による被害等を含め、被害額は、約2億3千万円となった。

### ○ 火山災害

桜島の降灰により、野菜等の農作物に被害をもたらし、被害額は約65億円となり、年間被害総額の約58%であった。

### ◆ 災害種別被害額

平成25年被害総額 11,200,020千円

種 類	被害額（千円）
降 雨 災 害	1,728,208
台 風 災 害	2,714,997
地震・津波災害	0
そ の 他 災 害	232,743
火 山 災 害	6,524,072
合 計	11,200,020千円

### ◆ 平成25年の梅雨時期

鹿兒島地方  
種子島・屋久島地方 } 5月27日ごろ～7月8日  
(5月30日ごろ～7月23日ごろ)

奄美地方 5月10日ごろ～6月29日ごろ  
(5月13日ごろ～6月29日ごろ)

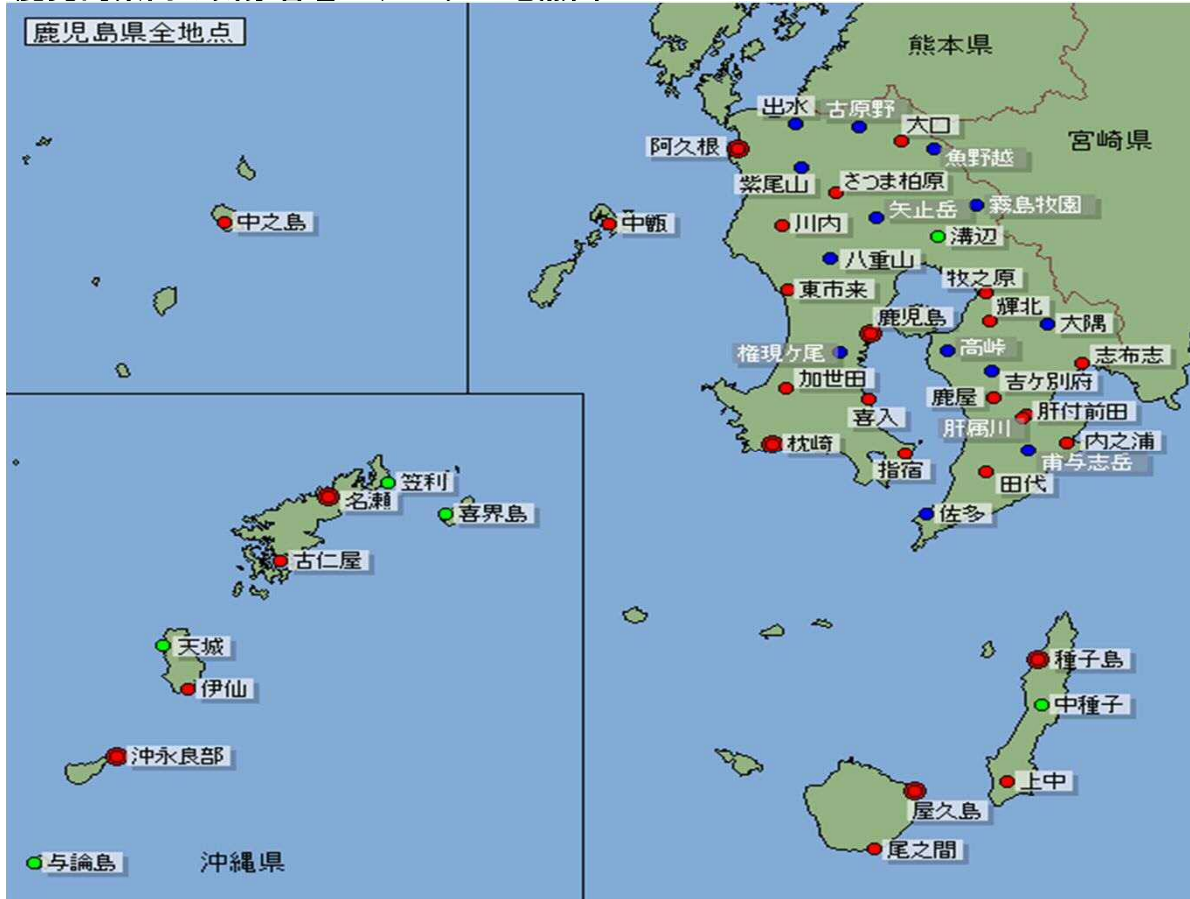
※（ ）内は、平成24年の梅雨時期

第2 被害総括表

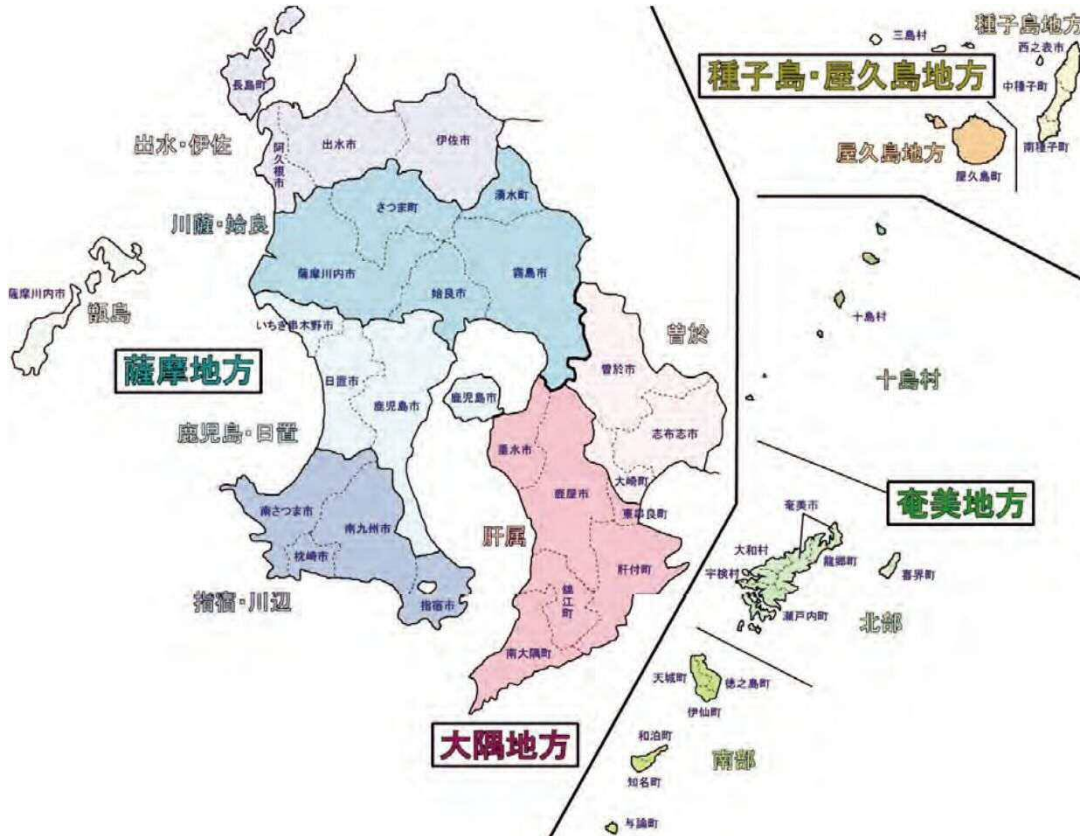
区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分	被害数	単位	被害額(千円)		
人的被害	死 者		人		衛生福祉関係の被害	病院・診療所等	14	棟	18,280	
	行方不明		人			水道施設	2	箇所	8	
	重 傷 者	1	人			清掃施設		〃		
	軽 傷 者		人			福祉施設	25	〃	33,582	
	合 計	1	人			そ の 他		〃		
住家の被害	全壊	棟 数	38	棟	農作物の被害	合 計	41	〃	51,870	
		世帯数	38	世帯		水陸稲	1.60	ha	544	
	半壊	人 員	73	人		麦 類		〃		
		棟 数	189	棟		雑穀いも豆類	6.00	〃	235	
	一部破損	世帯数	189	世帯		野 菜	425.20	〃	3,294,077	
		人 員	464	人		果 実	2.20	〃	554,539	
	床上浸水	棟 数	896	棟		工芸作物	13,587.30	〃	519,841	
		世帯数	900	世帯		飼料用作物	675.00	〃	833,004	
	床下浸水	人 員	2,104	人		花 き	26.00	〃	559,876	
		棟 数	2	棟		桑		〃		
	床上浸水	世帯数	2	世帯		茶		〃		
		人 員	4	人		樹体		〃		
	床下浸水	棟 数	37	棟		そ の 他		〃		
		世帯数	36	世帯		合 計	14,723.30	〃	7,161,650	
	合計	人 員	69	人		耕地	農 田	233	箇所	
		棟 数	1,162	棟				(流出埋没)	41.13	ha
	世帯数	1,165	世帯	畑			161	箇所		
人 員	2,714	人	(流出埋没)		27.58	ha	287,500			
非住家の被害	公共建物	棟 数 全 壊 半 壊	10	棟	関係施設の被害	農 ため池	1	箇所	2,000	
						業 頭首工	2	〃	14,000	
						用 水路	139	〃	237,500	
						施 道路	135	〃	267,500	
	その他	棟 数 全 壊 半 壊	261	棟		橋りょう	1	〃	60,000	
						農地保全		〃		
						揚水機		〃		
その他		〃								
合 計	672	〃	1,159,000							
					家畜等の被害					

区 分				被害数	単位	被害額(千円)	区 分				被害数	単位	被害額(千円)
農業生産用資材施設	耕種関係		10	棟	254	土庫負担の対象	国交省港湾農水省漁港	県工事	1	箇所	39,309		
	畜産関係		167	〃	189,768			市町村	〃				
	蚕糸関係			〃				小計	1	〃	39,309		
	園芸関係		216	〃	79,230			県工事	5	〃	51,294		
	その他			〃	3,000			市町村	1	〃	394,593		
	合計		393	〃	272,252			小計	6	〃	445,887		
水産関係の被害	漁船		14	隻	5,426	被害	合計	130	〃	1,257,898			
	漁具		1	統	20		その他	69	〃	243,043			
	施設その他			件			総計	199	〃	1,500,941			
	合計				5,446								
鉱工業関係被害						学校関係の被害	高等学校	6	校	77,853			
商業関係の被害	店舗		79	棟	197,653		中学校	5	〃	328			
	その他施設		14	件	14,690		小学校	11	〃	4,078			
	商品		3	件	2,650		その他	3	〃	500			
	合計		96		214,993		合計	25	〃	82,759			
山林関係の被害	林地(崩壊地)		23	箇所	551,800	その他の公共施設被害		23	箇所	19,239			
	施設等被害	治山施設		6	〃	104,800	鉄道関係	鉄軌道関係		件			
		林道		4	〃	50,817		線路工作物関係		〃			
		林産施設			〃			停車場工作物関係		〃			
	林産物			ha		機械関係			〃				
合計		33		707,417	の被害	建築物関係		〃					
土木関係の被害	国庫負担の対象	国土交通省	県工事	河川	12	箇所	72,364	被害	電気通信関係被害	0	〃		
				砂防		〃			電力関係被害	27500	〃		
				道路	6	〃	57,777		水道関係被害	177	戸		
				急傾斜		〃			警察関係の被害	8	件	21,240	
				橋りょう		〃			交通安全施設の被害	67	〃	3,213	
				海岸	1	〃	11,864		その他	0			
				その他		〃			崖くずれ	23	箇所		
				小計	19	〃	142,005		被害総額	総合計		11,200,020	
				河川	48	〃	169,092			うち桜島降灰以外		4,675,948	
				道路	56	〃	461,605			うち桜島降灰		6,524,072	
				橋りょう		〃							
その他		〃											
小計	104	〃	630,697										

### 鹿児島県内の気象官署・アメダス地点図



### 鹿児島県の注意報・警報細分区域 (平成24年5月現在)



## 内容に関する説明

### 1. 雨の降り方の表現

1 時間雨量が 30 ミリ以上 50 ミリ未満の場合、「激しい雨」

1 時間雨量が 50 ミリ以上 80 ミリ未満の場合、「非常に激しい雨」

1 時間雨量が 80 ミリ以上の場合、「猛烈な雨」

また、期間の雨量が 100 ミリ以上を「大雨」という。

### 2. 表中の数値の補足

網掛けしている数値は「資料不足値」を意味する。統計値を満たすのに十分な資料数（全体数のおよそ 80 パーセントが必要）を満たしていないので、利用に関しては注意を要する。

### 3. 平年値について

1981年～2010年の平均値を使用している。

## 九州南部および奄美の梅雨入りと梅雨明け

年	九州南部		奄美	
	梅雨入り	梅雨明け	梅雨入り	梅雨明け
2000年	5月26日ごろ	7月15日ごろ	5月26日ごろ	6月21日ごろ
2001年	5月21日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	6月23日ごろ
2002年	6月10日ごろ	7月21日ごろ	5月8日ごろ	6月30日ごろ
2003年	6月9日ごろ	7月22日ごろ	5月13日ごろ	6月27日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	5月14日ごろ	6月24日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月15日ごろ	5月5日ごろ	6月27日ごろ
2006年	5月26日ごろ	7月25日ごろ	5月11日ごろ	6月22日ごろ
2007年	6月1日ごろ	7月18日ごろ	5月26日ごろ	6月28日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	5月22日ごろ	7月2日ごろ
2009年	6月2日ごろ	7月12日ごろ	5月18日ごろ	7月5日ごろ
2010年	6月12日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	7月15日ごろ
2011年	5月23日ごろ	7月8日ごろ	4月30日ごろ	6月22日ごろ
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ	5月10日ごろ	6月29日ごろ
平年	5月31日ごろ	7月14日ごろ	5月11日ごろ	6月29日ごろ